

週報

日本基督教団 翠ヶ丘教会

2025年度年間聖句

「良い土地に蒔かれたものとは、
御言葉を聞いて悟る人」
(マタイによる福音書13章23節)



どなたにも開かれている定期集会

主日礼拝 每日曜日 午前10時半
子どもの教会 毎日曜日 午前9時～10時
祈祷会 各水曜日
○昼の聖書研究祈祷会
(第3・午後2時)
●夕の祈祷会
(第2、第4・午後7時)

牧師 井殿 準
協力牧師 堂本 陽子
協力牧師 井東 炎

〒252-0312 相模原市南区相南2-25-65
TEL. 042-742-1593
FAX. 042-742-1393
ホームページ: <http://www.midorigaoka.jp>
郵便振替口座 日本基督教団翠ヶ丘教会 本会計
00290-4-80707

3191 2026年1月4日

礼拝式順序

(降誕節第2主日)

司式者 井殿 準
奏楽者 菊池洋子

前 奏	奏 楽 者
招 詞 詩編98:1～3	司 式 者
讃美歌 205 「今日は光が」	一 同
聖 書 ルカ2:41～52 (新P. 104)	司 式 者
使徒信条 (93-4-A)	一 同
祈 祷	司 式 者
讃美歌 192 「主イエス・キリストはわれらの道」	一 同
説教 「私たちの生きる道」	司 式 者
祈 祷	〃
讃美歌 368 「新しい年を迎えて」	一 同
聖餐式	司式 井殿牧師
讃美歌 81 「主の食卓を囲み」	一 同
献 金	〃
主の祈り (93-5-A)	〃
頌 荣 27 「父・子・聖霊の」	〃
祝 祷	司 式 者
答 唱 40-6 「アーメン」	一 同
～「主の平和を」と、祈りを込めて隣席の方々と挨拶を交わしましょう～	
報 告	司 式 者
讃美歌 91 「神の恵みゆたかに受け」	一 同

- 当教会では讃美歌21と新共同訳聖書を使用しています。お持ちでない方は受付に常備されているものをご使用ください。
- 立ち座りのご不自由な方はどうぞ着席のままお臨みください。
- FM電波による補聴器が用意されています。受付に常備しておりますのでご利用ください。

先週の説教要旨

「私に向かって光る星」

(マタイ2:1～12)

「ユダヤ人の王としてお生まれになった方」を拝むために東方(メソポタミア)からやって来た「占星術の学者たち」とは、ただの占い師などではなく、天文学のスペシャリストであった。彼らは、ある夜、気になる星を発見し、その星が「ユダヤに新しい王が生まれたしるし」であると信じて、ユダヤを目指して旅立って行った。

しかし、天文学が栄えていたのは何もメソポタミアだけではない。エジプトやギリシャの天文学も進んでいたと言われる。それらの地でも、「占星術の学者たち」が発見した星は観測されていたはずだ。では、何故ベツレヘムを目指したのは、あの「占星術の学者たち」だけだったのであろうか？それは、正岡子規の短歌(「真砂なす 数なき星のうちに吾に向ひて光る星あり」)にあるように、彼らが、その星が自分たちに向かって光っている(自分たちに対して特別なメッセージを語っている)を感じたからではないだろうか？

世界では悲しい出来事がたくさん起こり、「世界は闇に覆われている」と思わずにはいられないのは事実である。しかし、そのような世界に、神は輝く希望の光として救い主をお贈りくださった。この世界、我々一人一人は、独り子を与えられるほどに愛されているのであって、この世界には、夜空に砂粒のように数え切れない数の星々があるのと同じように、神の愛が無数に散りばめられているのだ。そのことを信じて夜空を見上げる時、我々はきっと「私に向かって光る星」を見つけることができるはずだ。「私に向かって光る星」は必ずあるのだ。

占星術の学者たちは、その星を見つけて、感謝のささげものを携えて、喜び溢れて救い主のもとへと向かって行ったが、我々も「私に向かって光る星」を見つけて、喜びと感謝の内に、主イエスのいる場所(それは「教会」という場所でもあるし、主イエスは小さくされた者といつも共にいてくださる方であるが故に、「小さくされた者のいる場所」でもある)を目指して歩んで行こう。